

所属名	事務事業名	ページ番号
佐賀駅周辺整備室	佐賀駅周辺整備事業	2
佐賀駅周辺整備室	佐賀駅周辺活性化事業	3

令和5年度 公共事業進捗報告シート

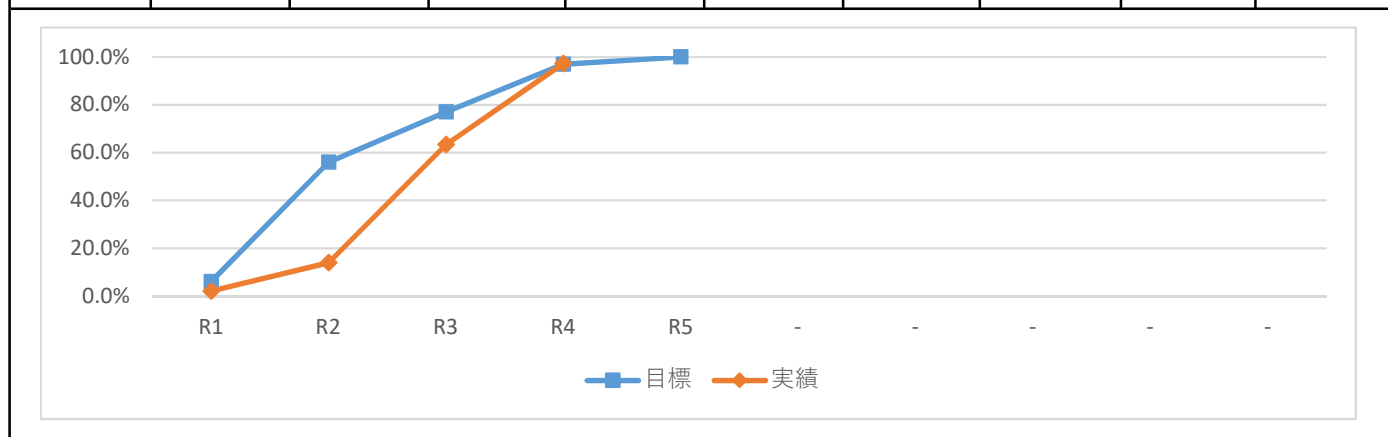
公共事業名	佐賀駅周辺整備事業		事業期間	令和 1 ~ 令和 5 年度
担当部署・係名	佐賀駅周辺整備室 整備係		担当課長名	西 洋徳
総合計画に おける位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化		
	基本事業	街なか再生の基盤整備		

1 公共事業の基本情報

整備概要	北口駅前広場の整備、南口駅前広場の整備、市道三溝線沿道におけるポケットパーク等の整備				
整備の目的	まちの玄関口である佐賀駅周辺の魅力向上を図るとともに、街の南北軸（SAGAサンライズパーク～佐賀駅周辺～中心市街地）を強化し、中心市街地全体の賑わい創出につなげることを目指す。				
<b>事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
工事請負費		63,687	396,580	303,327	
測量・監理等委託料	18,597	43,702	14,701	2,698	
用地購入費			34,083		
補償費			1,126		
その他事務費等					
計	18,597	107,389	446,490	306,025	
うち佐賀市の負担	558	4,564	60,073	49,844	
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					763,594
測量・監理等委託料					79,698
用地購入費					34,083
補償費					1,126
その他事務費等					
計					878,501
うち佐賀市の負担					115,039

2 事業の進捗率

R1	目標 実績	R2	目標 実績	R3	目標 実績	R4	目標 実績	R5	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
	6.0% 2.1%		56.0% 14.0%		77.0% 63.4%		97.0% 97.3%		100.0%					



令和5年度 事務事業実績報告シート

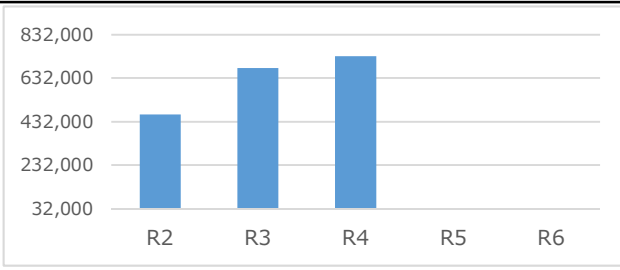
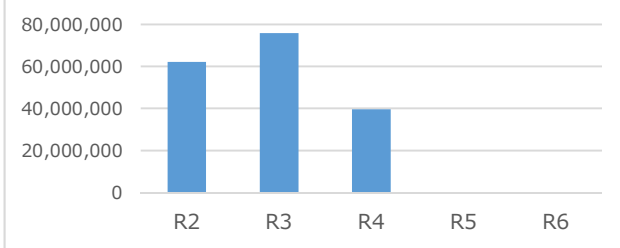
事務事業名	佐賀駅周辺活性化事業	事業期間	令和 1 ~ 令和 5 年度
担当部署・係名	佐賀駅周辺整備室 推進係	担当課長名	西 洋徳
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	街なか再生の基盤整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	旧西友駐車場敷地（約1.1ha）の一部を令和4年3月に取得しており、地権者と共同で当該地へ民間開発の誘導を目指している。 また開発に着手するまでの間、当該地を有効活用するため駐車場事業者へ土地を貸し付ける。（駐車場として暫定利用） <対象地概要> ・名称／JQパークス佐賀駅南口 ・期間／令和4年4月1日～令和6年3月末（予定） ・駐車可能台数／351台（面積 10,113.08㎡（うち市有地3,662.02㎡））				
事業の対象者	市民・来街者				
根拠法令等	佐賀駅周辺整備基本計画				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	年度	年度
事業費総額	105,652	728,725	4,575		
うち佐賀市の負担額	105,652	716,706	4,575		

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
駐車場利用台数					台
R2実績	R3実績	R4実績	実績	実績	
464,865	679,355	732,910			
活動実績②					単位
駐車場収入（R4以降は土地貸付料収入）					円
R2実績	R3実績	R4実績	実績	実績	
62,116,565	75,927,800	39,591,171			

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

・活動実績①（駐車場利用台数）についてはワクチン接種の促進等により、近隣商業施設の利用や駅利用者等の長時間駐車が増加したことから、昨年度と比較し約1.1倍に増加している。

・活動実績②（駐車場収入）については令和4年3月末をもって市営暫定駐車場の運営を終了し、令和4年4月以降駐車場事業者が当該地を貸し付けているため、令和4年度実績は市有地の土地貸付料収入額を記載している。

・開発誘導については、コロナ禍の収束により、前向きな意見も聞かれるものの建設費高騰の影響が大きく、新規開発案件の事業採算性の確保が難しくなっている。そのため、現段階で公募開始時期の見通しが立っておらず、引き続き開発事業者へのヒアリングを実施し、公募開始時期を見極める。

・開発に着手するまでの間、引き続き当該地を有効活用するため駐車場事業者へ貸し付ける。（駐車場として暫定利用）